

# 卒業生 頑張っています!

## ご縁に感謝し奮闘中

吹一地区公民館館長

西尾洋子



私が勤務しております吹一地区公民館は、人口35万6000人の吹田市南部、JR京都線・吹田駅の南15分に位置します。小学校区1館、市内に29館あります。公民館の中でも一番早く昭和36年に開館しました。地域の社会学習・生涯学習の拠点として、変遷を重ねながら今に至っています。

公民館条例の目的達成のため、定期講座、講習会、実習会、講演会、展示会などの開催・体育、レクリエーションに関する集会や公共利用にも供しています。児童から高齢者市内有数の高齢化率の地域のため)まで、1カ月平均1000名の利用者がいます。

昭和40年被服卒(旧姓 大西)

## 上町台地の歴史を受け継ぐ 佃説子

佃説子

私が谷町二丁目(大阪市中央区)から東西の通り大手通二丁目の茶庵に嫁して30年近い年月を過ごしてあります。母校相愛園にも程近く、この地で今なお学生時代の気分のまま遠征近くまで輪を重ねております。ちょっとした近況をこのコーナーでさせていただきます。江戸時代から継承されております「茶庵での「文人サロン」など紹介



由な発想から生まれる学問でございます。私が国文研究室で、お手伝いさせて頂いておりました「田丸庵講義」は、まさにその精神の先駆けを築いた契沖阿蘭の学問方法でございます。田丸庵は上町台地にございまして、また、この辺りに接触し、催した煎茶会のことです。煎茶と深く関わる黄檗宗の寺院もあり、大阪町人の黄檗宗ともまろ溶け合い、煎茶文化が花咲くこととなりました。晩年、伏見町に住んだ木村兼葎堂はその代表者でございます。

現在の「茶庵サロン」は、主に中国の典籍(漢詩漢文)を読み解き、南無(文人画)の世界に遊び、おいしいお茶を飲み集まった者が、非日常の世界に自己を委ねる。例えは興にのり、筆を執り書や画をかき、俳句をつくり、うたを詠むなど実体験としてサロンを味わっております。

伝統を受け継ぐ宗匠は、もはや家元ではなくサロンの主人、芸術プロフェッサー的存在でございます。

昭和50年国文卒(旧姓 藤本)

## 関東支部

### はんなりとした 楽しい同窓会

平成24年6月1日、関東支部同窓会を銀座「花郷」にて実施しました。

遠路より学園の諸先生方、京都支部、名古屋支部の皆さまに御臨席を賜りました。親鸞様の御縁に感謝し、豊かなフルートの音楽を聴きながら、東京にて京都祇園の和食を食しました。

二次会は帝国ホテルにて関西弁でわいわいと懐かしい一時を過ごしました。ぜひ、次回同窓会支部同窓会を楽しみに御参加ください。お待ちしております。

「おわきに」  
関東支部 今成光江

## 京都支部 四季折々 京都を満喫



春桜満開の平成24年4月10日、伏見の老舗「魚三樓」で出口元理事長、大谷学園長、加藤元副校長先生方にご臨席いただきました。関東支部、東海支部からは遠方にもかかわらず多くのご出席をいただき、総会は多



## 東海支部

### 三味線の音色を楽しむ

平成24年度総会は6月2日、名古屋を楽しましに、名古屋 Marriott アソシアホテルにて開催しました。

当日は関東支部、京都支部からも多数ご出席いただきました。ゲストには、津軽三味線和並みでの食歩きを楽しい一日の扉のメンバーで活躍されたいを過ごしました。

加藤弘治さんと佐藤史織さん、今年の総会は6月22日(土)を予定しております。支部長は、



恒例、秋のバスツアーは、高山、紅葉の美しい宇津江四十八滝を散策し、高山では古い街並みも皆様のご参加を心よりお待ちしております。

昭和54年卒の下平弥生さんに引き継いでいただきます。今年度も皆様のご参加を心よりお待ちしております。

申し込み先 下平弥生  
電話 0565・53・5931  
東海支部 福島文子



く15名の出席の下、会長あいさつ、来賓あいさつ、会計報告後、美味しい京料理を味わいながら近況などのおしゃべりに皆様の楽しい一時を過ごされました。会員も年々、歳を重ね足の痛い方も増えて参りましたが、で椅子形式でお食事ができるように配慮していただきました。

夏は同窓会生の寂光院印主様の龍澤様よりご招待いただき、地蔵盆会に前年に続き役員が参加しました。大原の閑寂な緑の中で法要が営まれ暑さも忘れる至福の一時を過ごしました。

秋の紅葉会は11月30日に祇園八坂の「中村楼」で懐石料理を堪能しました。こちらも椅子形式で、各支部の方々も老舗のお料理、たまたまに感動されました。会終了後は皆様円山公園付近に出かけました。今年もご出席お待ちしております。

京都支部 竹原和